

島根朋史 ソロ・リサイタル 2024

Solo Recital by Tomofumi SHIMANE 2024

— チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、トレブル・ガンバの三刀流 —

2024年 2月 21日 (水)

昼公演：14:00 / 夜公演：18:30 (30分前開場)

会場：ユリホール 昭和音楽大学 南校舎 5F

小田急線 新百合ヶ丘駅より 徒歩4分 / 新宿→新百合ヶ丘は約20分!

Program

J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 BWV1008 より

J. - L. デュポール：21の練習曲より 第7番、第8番

M. ベルトー：チェロと通奏低音のためのソナタ へ長調 op.1-4

J. - B. パリエール：チェロと通奏低音のためのソナタ 変ロ長調 Livre3-4 より

M. マレ：「田園の祝祭」～ 曲集第4巻、異国趣味の組曲より

F. クープラン：「シシリエンヌ」～ 趣味の融合 第7番より 他



- 2nd Solo CD 「AU-DELÀ (オドゥラ)」 / ALM-Records
- J. - L. デュポール 著 / 島根朋史 訳・校訂
『チェロ奏法 (原題：運指と運弓に関する試論 / 全邦訳)

と21の練習曲 (原典版)』 Paris: 1806. / 音楽之友社

発売記念リサイタル



【出演】

島根朋史 / チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、トレブル・ガンバ

Tomofumi SHIMANE / Historical Cello, Viola da gamba & Treble gamba

重岡麻衣 / チェンバロ

Mai SHIGEOKA / Cembalo

佐藤亜紀子 / テオルボ

Akiko SATO / Theorbo

布施砂丘彦 / ヴィオローネ・ダ・ガンバ

Sakuhiko FUSE / Violone da gamba

チケット、リサイタルの詳細は

Yahoo!パスマーケットにて ↓ →

<https://is.gd/xaZ7bW>



ご予約・お問い合わせは、ムジカキアラまで

03-6431-8186 (平日 10:00-18:00) / info@musicachiara.com

【チケット】

一般：前売 4,500円 / 当日 5,000円

学生：前売 1,500円 / 当日 2,000円

※ 学生＝高校生以上。大学院生、専門学校生含む

小学生・中学生：無料 (※要予約)

主催：ART OFFICE SS

マネジメント協力：ムジカキアラ

チェンバロ協力：加屋野木山

後援：昭和音楽大学ピリオド音楽研究所、

一般社団法人日本弦楽指導者協会、古楽オーケストラ La Musica Collana

「三刀流奏者」、「音楽博士」として活動を続ける島根朋史。 待望の New CD と書籍&楽譜、2つの発表を記念した 5年ぶりのソロ・リサイタル。



島根朋史 しまね ともふみ / Tomofumi SHIMANE

(チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、トレブル・ガンバ / Cello, Viola da gamba & Treble gamba)

博士(音楽・チェロ)。現代・歴史カルのチェロ、ガンバを操る三刀流奏者。東京藝術大学の附属高校から大学院修士課程までを経て、博士後期課程にて博士号を取得。研究は17世紀末のガンバからベートーヴェンの時代のチェロに至る「奏法史」と「楽譜読解」。同声会賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。パリ・サティ音楽院修了。A.ビルスマ、E.バルサ、P.ミュレル、X.ガニユバン、鈴木秀美、河野文昭の各氏にチェロを、C.プリュボウ、福澤宏の各氏にヴィオラ・ダ・ガンバを師事。

東京文化会館、パリ・スーピズ邸にてリサイタルを開催。チェロとヴィオラ・ダ・ガンバの無伴奏作品を集めた1st Solo CD「レ・モノローグ」はレコード芸術準特選盤、音楽現代・読売新聞・月刊サライの推薦盤、月刊Stereo優秀録音盤に選ばれた。

古楽オーケストラLa Musica Collana首席奏者、サブディレクター。同団でNHKららら♪クラシックに出演し、奏法や楽譜読解の解説と演奏を行った。フランス・バロック演奏団体 On verra 副代表。

バッハ・コレギウム・ジャパン、木心トリオ等メンバー。日本弦楽指導者協会会員。印西国際音楽コンクール、高知音楽コンクール審査員。昭和音楽大学非常勤講師。同大学ピリオド音楽研究所所員。

重岡麻衣 しげおか まい / Mai SHIGEOKA (チェンバロ / Cembalo)

東京藝術大学古楽科チェンバロ専攻卒業。同大学院修士課程古楽科フォルテピアノ専攻修了。ブルージュ国際古楽コンクール奨励賞受賞。ブリュッセル王立音楽院を名誉賞付きディプロマを得て卒業。2008~13年ベルギー・アントワープ王立音楽院フォルテピアノ科客員教授。「バッハ・コレギウム・ジャパン」など国内外の古楽団体や在京オーケストラに、チェンバロ・オルガン・フォルテピアノによる通奏低音奏者として多数参加している。2022年リリースのCD「モーツァルト&ベートーヴェン:フォルテピアノと管楽器のための五重奏曲」(ALM-Records)は『レコード芸術』特選盤に選ばれている。現在、ソロ・アンサンブル等の活動を活発に行くと同時に、後進の指導にも力を入れている。桐朋学園大学古楽器科嘱託演奏員。



佐藤亜紀子 さとう あきこ / Akiko SATO (テオルボ / Theorbo)

東京芸術大学音楽学部楽理科卒。在学中に左近径介氏と水戸茂雄氏にリュートの指導を受ける。ドイツ国立ケルン音楽大学でK.ユングヘーネル氏にスイスのパーゼル・スコラ・カントルムでH.スミス氏に師事。2010年まで東京芸術大学音楽学部古楽科教育研究助手。ソロ活動のほか、通奏低音奏者として、歌手や器楽奏者とのアンサンブル、バロックオペラ等多数出演。2018年よりパリ在住の歌手高橋美千子との古楽ユニット「たまひび」の活動を開始し2021年にCD「たまひび」をリリース。NHKららら♪クラシックの「戦国武将を癒した音色」においてリュートとピウエラのソロを演奏。ソロCD「ララバイ〜イギリス・ルネサンス期のリュート音楽」、2023年にはセカンドソロCD「アレッサンドロ・ピッチニーニ リュートとキタローネのためタブラチュア曲集」をリリース。アイゼナハ音楽院講師。コロナ禍以降、積極的に演奏動画を投稿している。



布施砂丘彦 ふせ さくひこ / Sakuhiko FUSE (ヴィオローネ・ダ・ガンバ / Violone da gamba)

東京芸術大学卒業。演奏、批評、プロデュースの3つの領域で活動する。演奏家としてはコントラバス奏者としてプロオーケストラへの首席客演、実験音楽の演奏やパフォーマンスなどを行うほか、古楽器(ピリオド楽器)の演奏もしており、これまでにアントネッロやバッハ・コレギウム・ジャパン、ラ・ムジカ・コッラーナ、ボナ・ムジカ・メンブラなどの公演に出演。多様なサイズ、調弦のヴィオローネを演奏する。批評家としては時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞してデビュー。朝日新聞をはじめとして、さまざまなメディアに寄稿している。現在、オルケストル・アヴァンギャルド首席コントラバス奏者、箕面おんがく批評塾塾長、ミヒャエル・ハイドン・プロジェクト主宰、音楽祭「箱根おんがくの森」アートディレクター。



【アクセスガイド】

ユリホール (昭和音楽大学 南校舎 5F)

住所: 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

小田急線 新百合ヶ丘駅より徒歩 4分

※ 校舎内に入りましたらエレベーターで 5F へお越しください。エレベーター降りて右手にホール受付がございます。